| 科目名 | ナンバリング | 区分（必修・選択） | 単位数 | 履修年次 | 開講学期等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 経済と経営 | NLA21＿003 | 選択 | 2 | 2 | 前期 |

| 担当教員 | 研究室 | 電子メール ID | オフィスアワー |
|---|---|---|---|
| 松崎　昇 | 教員控室 | kango | Teams で質問相談等随時受付 |

| | |
|---|---|
| 授業の目的・概要 | １．問い　NISAまだ始めてないの？、起業も視野に入れてる？、社会人になるとどんな税金をどれだけ納めるの？・・・<br>２．目的　本科目は、みなさんが現代日本における経済経営的諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりに調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。<br>看護師等を目指すみなさんにとっても、経済経営的な感覚、時事、社会常識は、就活時、出世時、また社会生活をおくる上でも、不可欠となる。社会系の苦手な人にこそ、ぜひ受講を勧める。「資産運用」回は特に必見必聞！<br>３．概要　経済経営の基本、および両者の現代日本における展開相について学修する。<br>終盤の第13～15回には、Active Learningを行う。<br>①Group Presentation、②Group Debate、③Total Discussionという三形態を予定。<br>４．形態　本授業は遠隔（Teams）で行う。 |
| 授業形式・方法 | ☐対面授業 ☑遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習)<br>☑講義 ☐演習 ☐実習 ☐実技<br>☑PBL ☑反転授業 ☑ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ ☑ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ ☑ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ ☐実習・ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ ☐その他（　） |
| 学習上の助言 | １．国内外の経済経営社会的な諸問題をキャッチできるよう、高感度のアンテナを張っておくこと。<br>２．毎回の授業で用いる Power Point Sheets を事前に up するので、予め目を通しておくこと。<br>３．事後の課題は、自分から調べ考えなければならないが、とても力がつくので、めげずに行うこと。 |
| 教科書 | 使用しない。 |
| 参考書 | 授業中に適宜紹介する。 |
| 外部教材 | 特になし。 |

| | 学生が達成すべき行動目標 | 関連卒業認定・学位授与方針 |
|---|---|---|
| ① | 経済および現代日本経済について、基本的な事項を説明することができる。 | HSU(2)(5)(6) |
| ② | 経営および現代日本経営について、基本的な事項を説明することができる。 | HSU(2)(5)(6) |
| ③ | 山梨の経済経営について関心を持ち、基本的な事項を説明することができる。 | HSU(2)(5)(6) |
| ④ | 現代日本の経済経営社会的な諸問題について、基本的に調査・考察・発表・議論できる。 | HSU(4)(5)(6) |

授業計画

| 回 | 学習内容等 | 授業方法 | 学習課題・学習時間（時間） | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 科目の Guidance.<br>経済の仕組みを学ぶ（国内総生産、国富等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 2 | 産業・企業を学ぶ（産業分類、法人企業統計等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 3 | 就業・家計を学ぶ（非正規雇用、所得格差等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 4 | 金融を学ぶ（預金・債券・株式、金融市場等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 5 | 資産運用を学ぶ（株式と投資信託、暗号資産等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 6 | 財政を学ぶ（国民負担率、財政赤字論等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 7 | 対外経済関係を学ぶ（国際収支、対外純資産等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 8 | 経済運動を学ぶ（物価、景氣、成長）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 9 | 経営管理を学ぶ（Leadership、Motivation 等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 10 | 経営組織を学ぶ（組織形態、財務諸表等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 11 | 経営戦略を学ぶ（Marketing、Innovation 等）。 | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 12 | 山梨の経済・産業・企業を学ぶ（基礎値等）。<br>Active Learning（AL）のための Guidance. | 同時双方向型<br>遠隔授業 | 課題は授業前に配信される。<br>授業後に取り組み提出する。 | 4 |
| 13 | AL1：Group Presentation. | 同時双方向型<br>遠隔発表 | 指定課題に取り組む。 | 4 |
| 14 | AL2：Group Debate. | 同時双方向型<br>遠隔対論 | 指定課題に取り組む。 | 4 |

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

| 回 | 学習内容等 | 授業方法 | 学習課題・学習時間（時間） | |
|---|---|---|---|---|
| 15 | AL3：Total Discussion. | 同時双方向型<br>遠隔討論 | 指定課題に取り組む。 | 4 |
| 試 | 期末 Report. | | | |

達成度評価

| 総合評価割合（%） | 試験 | レポート | 成果発表 | ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0 | 30 | 35 | 0 | 35 | 100 |

| 総合力指標 | 試験 | レポート | 成果発表 | ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 知識・技術力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 |
| 思考・推論・創造する力 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 | 20 |
| 協調性・リーダーシップ | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 10 |
| 発表・表現伝達する力 | 0 | 0 | 15 | 0 | 0 | 15 |
| コミュニケーション力 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 10 |
| 取組みの姿勢・意欲 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 |
| 問題を発見・解決する力 | 0 | 10 | 0 | 0 | 10 | 20 |

評価のポイント

| 評価方法 | 行動目標 | 評価の実施方法と注意点 | フィードバックの方法 |
|---|---|---|---|
| 試験 | ① ② ③ ④ | | |
| レポート | ①✓ ②✓ ③✓ ④ | 期末 Report を評価する。<br>着眼点、ならびに調査・考察・記述の質量等に着目する。 | Comment を付け、返送する。 |
| 成果発表 | ①✓ ②✓ ③✓ ④✓ | ［Presentation 力、Debate 力、Discussion 力］を評価する。<br>着眼点、ならびに調査・考察・発表・質疑応答の質量等に着目する。 | Comment を付け、結果を公表する。 |
| ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ | ① ② ③ ④ | | |
| その他 | ①✓ ②✓ ③✓ ④ | 毎回提出する課題を評価する。<br>着眼点、ならびに調査・考察・記述の質量等に着目する。 | Comment を付け、返送する。 |

備考

| | |
|---|---|
| 他担当教員 | なし。 |
| 教員の実務経験 | なし。 |
| 実践的授業の内容 | なし。 |
| その他 | １．授業・課題は Teams を用いて行う。通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。<br>２．受講人数、授業進度状況、授業環境等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。 |